

IEEE 関西支部主催 MAW (Metro Area Workshop) 開催趣意書

IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers) は、世界 160 カ国以上に亘って会員 43 万人を擁する、電子情報分野での世界の頂点に位置する専門家集団です。米国のコンピュータ、通信、半導体、航空などの先端産業は、IEEE と密接に繋がって、特許戦略や無線 LAN の IEEE802.11 などの標準化戦略を展開し、世界をリードする会社を次々と産み出しています。これは、アカデミーと実務技術者が一体となっている米国の強みです。

一方、日本においては、14,000 人超の会員を有しております。また、IEEE は他の学会などと異なり、専門分野ごとの組織に加え、地域ごとの組織が存在します。日本では、東京支部、関西支部など、全国に 9 つの支部があり、その地域に密接にかかわる個別の活動をしています。IEEE には、マイルストーン賞として、開発から少なくとも 25 年以上経過し、地域社会や産業の発展に多大な貢献をしたと認定される歴史的業績を表彰する制度があり、世界で 157 件 (内 日本で 26 件) が受賞しており、その内関西支部では 7 件を受賞しております。

現在の日本における IEEE の活動は、大学と一部企業の研究者を中心に行われており、企業の実務技術者と若干の隔たりがありました。そのため、IEEE が保有する幅広い技術情報が実ビジネスにつながりにくく、IEEE の標準化活動などを活用したグローバル化が他国に比べて弱い原因となっております。

IEEE は、人類社会に有益な技術革新を促進させることにあると明言しており、引き続きイノベーションを起こす戦略を 2 つ挙げています。第一は実務技術者に光を当てること。第二は電子情報の境界産業へ展開することです。その具体的方策として、3 年前より MAW (Metro Area Workshop) を全世界で開催しています。

この Workshop の目的は、広い産業分野の実務技術者が、IEEE 活動に参加して人のネットワークを築き、企業のグローバル展開に寄与できる人材に成長することを目指すものです。

IEEE 関西支部でも、この仕組みを活用して、2016 年夏(予定)に関西地区にて MAW の開催を企画することと致しました。

関西地区の特長は、材料・デバイスから家電メーカーまでという幅広い業種の中小企業から大企業までが集まっている産業界、国や地方公共団体の研究機関と関西地域の大学という高度な産官学が高密度に集積している点があげられます。

MAW を関西支部で開催する目的は、IEEE の幅広い学術情報・技術情報・標準化情報の提供などにより、関西地域に根差した企業、研究機関、大学などの境界を越えた連携を強化し、イノベーションを生み出すことによる関西地域の産業の活性化、企業と学生のマッチング、地域経済の発展と雇用拡大の実現を目指すことにあります。

本ワークショップは、このような理念のもと開催致したく存じますので、本趣旨にご賛同頂き、多くの企業、団体等にご協力・ご参画賜りますようお願い申し上げます。

2015 年 6 月

IEEE 関西支部 Chair

山内 寛紀

